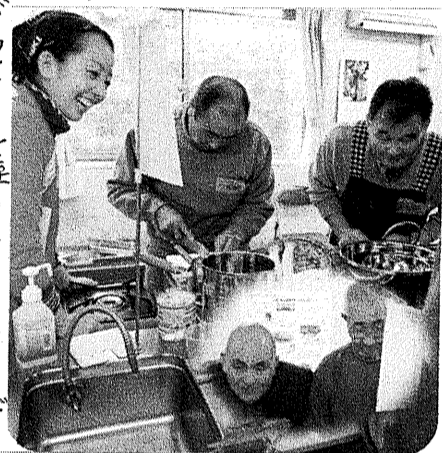


希望

男の料理教室

11月10日、船越第8仮設の集会所で料理アカデミーが開催されました。この教室は、味の素・社会福祉協議会・役場が連携して開催しているものです。男性を対象とした料理教室で、地元で獲れる季節の食材を使い、電子レンジを使って簡単にできるメニューが準備されました。普段、なかなかイベントなどに参加されない男性ですが、その日は8名が参加しました。味の素のスタッフから調理方法や食材の説明があり、普段何気なく食べている食材にいろいろな栄養価が含まれていることを聞き、参加者の方々は驚いていました。調理が始まると順番を譲り合いながら、男性た



早く食べたい!!



広告で「コサージュ」

11月25日、織笠第3・4仮設団地の談話室で「みえ災害ボランティア」の支援センター主催の新聞紙のカラー広告で作る「コサージュ作り」が行なわれました。三重県から6名の方が談話室を訪れてくださり、コサージュ作りを指導してくださいました。花の中心となる新聞紙の芯にハサミで細かく切り込みを入れ、花びらになる部分を糊付けするなど、

ちが包丁を握りました。思っていた以上に手慣れていました。時々笑い声が上がりましたが、楽しそうに作っていました。参加された方が、「自宅ではなかなか電子レンジを使った料理はしないが、皆が集まって料理をするのは楽しい。寒くなり、外でのんびり話をする事も減っていたから、こういった企画には参加していきたい」と話してくださいました。

細かい作業が続いていましたが、終始間をのびのびと笑っていました。ボランティアの方と方言の違いを比べたり、子供の頃の話をしたり、時々する失敗がまた楽しそうでした。切り込みの入れ具合や使用する広告の色などで、それぞれ表情がかわるコサージュ。今後は仮設住宅の皆さんからの要望と、ボランティアの方の都合に合わせて活動を行なう予定です。

漁師が網でハンモック

宮古の生協で販売されている「漁師の網で作るハンモック」が、網バックという商品をご存知でしょうか。山田から盛岡へ移られた佐々木勝正さんが始めた活動です。震災後盛岡のみならず仮設住宅へ入居した佐々木さん。何かできる事はないかと始めたのが、普段毎日手にしていた大切な仕事の道具「魚網」の編み方を活用して作るハンモックなどの製品。始めたばかりの頃は細い材料を手にする事も大変だったそうです。やっと見つけた業者から材料を購入し、完成したものを「バザー」などで販売し始めた時に、宮古の生協から出店に来ていた方と知り合い、生協での販売が決まりました。現在は、メディアで取り上げられ、ネットでの注文も増えているそうです。盛岡では、内陸に避難しているお母さん方を対象に



次はどの色の広告をおおうかな



復興支援センターで編み方の講師もされているそうです。山田でも編み手さんを募集しているそうですので、興味のある方は、お問い合わせください。090-1692-9933

仮設住宅「柳」

夢科打ちに 興味津々
前に出で 喉ごし つるり
信州の詩

小谷島海岸 昔のおもかげ
いづこやら
たごりこ村で わりび座観劇
感動す
野田 喜佑子

俺が春 人生末期に
やっとなら
今の世は 戦国時代
思い出す
世のみだれ こんな世の中
誰がした
下田 榮作

山田町の皆様へ

2011年3月11日の震災以降、避難所新聞「くじら山ろく」及び仮設住宅新聞「希望」を皆様にお届けしてまいりましたが、今月号を持って終了することになりました。これまで取材・情報提供・川柳の投稿等にご協力くださり本当にありがとうございました。山田町の本町の復興はこれからだと思いますが、私どもは山田町の皆様の心の強さを信じ、皆様の心の温かさが子供たちの心を育み、更にステキな山田町を作られていくことを信じています。今後の更なる発展を心より願い、引き続き応援させていただきます。本当にありがとうございます。公益財団法人 ケア・インターナショナル ショナルジメパン スタッフ一同

これまで16ヶ月間、希望をこぞ送っていただきありがとうございました。楽しんでいただけたら幸いです。山田町の皆様の心の強さを信じ、皆様の心の温かさが子供たちの心を育み、更にステキな山田町を作られていくことを信じています。今後の更なる発展を心より願い、引き続き応援させていただきます。本当にありがとうございます。公益財団法人 ケア・インターナショナル ショナルジメパン スタッフ一同

